面接調査書

入学志願理由

　私は、東京学芸大学情報教育課程情報教育専攻に入学し，情報教育について，情報技術について学びました．学部3年からは櫨山研究室に所属し、ソフトウェア工学について専門的に研究を行っています。そして，学部だけに止まらず，卒業後も研究をしていきたいと思うようになりました．大学院では，学会を通して世の中に発表したり，深い研究活動を行なっていきたいと考えております．

大学在学中及びその後に行った研究

　私は，ソフトウェア開発型PBLと呼ばれる問題解決型学習におけるコミュニケーションを支援する研究を体系的にレビューする研究を行なっています．

　 PBLの導入により，ソフトウェア開発の工程を体系的に学ぶことができ，さらに，学習者のコミュニケーション能力や問題解決能力も育成できるとされ，情報系の分野における実践的な教育手法として， ソフトウェア開発型PBLに対する注目度が高まっています．その中で，PBLにおいて，コミュニケーションを支援することは，必要不可欠であり，これまでにPBLにおけるコミュニケーションを支援する研究は数多く行われてきました．そこで，私は，ソフトウェア開発型PBLにおけるコミュニケーション支援についての体系的レビューを行い，近年の動向を明らかにしたいと考え，現在研究を行っています．

入学後研究したい事項

　私は入学後に，ソフトウェア開発型PBLと呼ばれる問題解決型学習を支援する研究を行っていきたいと考えております．その中で，PBLにおけるコミュニケーションを支援することに興味があります．先行研究でも，PBLにおけるコミュニケーションを支援する研究は数多く行われてきています.しかし，コミュニケーションというものは，時代が進むにつれて変化していき，学習者は教室から，世界中へと範囲は様々です．私は，学習者同士，教師と学習者間に発生するコミュニケーションにおける問題点を解決するような研究を行いたいと思います．